紙ふうせん

KAMIFUSEN　No.102

成田市立図書館だより　第102号

2026（令和8）年9月30日発行

編集 成田市立図書館

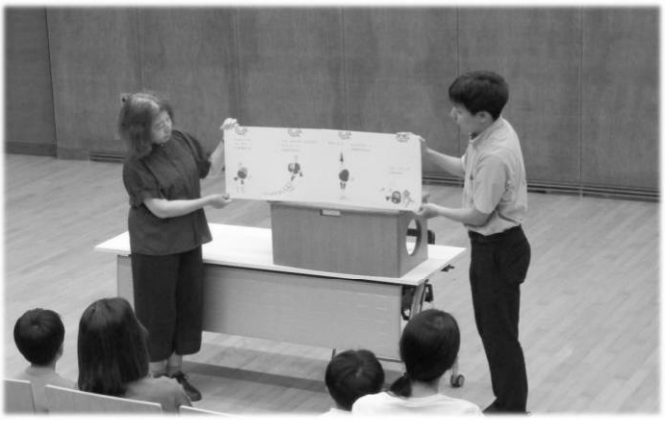
〒286-0017　千葉県成田市赤坂1-1-3
https://www.library.city.narita.lg.jp

☎　0476-27-4646
FAX　0476-27-4641

2026（令和8）年7月30日（木）、「なつやすみおはなしかい」を本館で開催しました。

75名の方にご参加いただきました。昔ばなしをはじめとするたくさんのおはなしを、子どもたちは夢中で楽しみました。





2026（令和8）年8月4日（火）、「杜のなつやすみおはなしかい」を公津の杜分館で開催しました。

10名の方にご参加いただきました。絵本の中のペンギンになりきって体操したり、こわいはなしにドキドキしたりして、おはなしの世界を楽しみました。

（紙面紹介）

・こどもの読書週間記念イベント「図書館で電車を楽しもう！」
・科学あそび講座
「錯覚ってなあに？～超高層ビルボックスとふしぎなおもちゃをつくろう～」
・一般向け講座「教えて！けんご先生　SNS時代の本の楽しみ方」
・新たに始まったサービスを紹介します

こどもの読書週間記念イベント「図書館で電車を楽しもう！」

開催協力：千脇和人氏（Sazanami Networks）2026.5.10（日）

「こどもの読書週間」を記念して、子どもたちが図書館や本に親しむきっかけとなるよう、乗り物絵本の展示と鉄道おもちゃで遊ぶイベントを本館で開催しました。午前と午後の部を合わせて、子どもから大人まで 237 名が来場し、親子や電車大好き子鉄同士で思い思いに車両を走らせ楽しみました。

会場となった視聴覚ホールには、床一面に敷かれた鉄道おもちゃのレールやモノレールが走行するセット、運転体験コーナーが設置されました。ホール前には、ミニプレイコーナーや司書が選んだ乗り物絵本等が約 100 タイトル並ぶ展示コーナーのほか、京成電鉄株式会社による輪投げコーナーや JR 東日本(株)成田統括センター提供のペーパークラフトが用意されました。



電車や新幹線の絵本がズラリ

踏切や分岐などの仕掛けが満載のレールの上に、持参した車両や貸出用車両を走らせる子どもたち。人気の列車が次々と目の前を通る様子を、うれしそうに見つめていました。乗り物絵本の展示コーナーでは「こんな絵本あるんだ」と手に取る様子も。「また来たい」「楽しかった」という感想を何人も教えてくれました。

今回のイベントでは、運営ボランティアとして 21 名の方にご協力いただきました。前日の会場準備から始まり、子どもたちの遊びの補助や貸出車両の受付、撤収作業など、イベントの開催をお手伝いいただき、ありがとうございました。

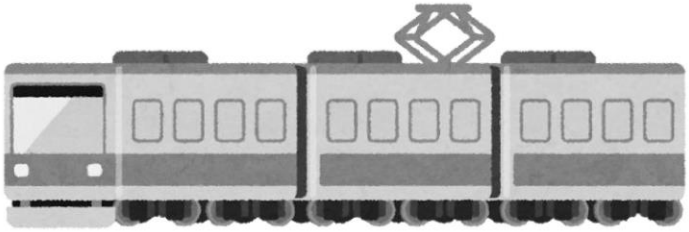


入場券「Yomocca」を改札機にタッチ！





気分は運転士！
ホームぴったりに停車できるかな？





科学あそび講座

「錯覚ってなあに？～超高層ビルボックスとふしぎなおもちゃをつくろう～」

講師：坂口美佳子氏（科学読物研究会）2026.7.28（火）

今年度の講座は、「目の錯覚」をテーマに、錯視の実験や錯視を利用したおもちゃの工作を行いました。午前と午後の 2 部合わせて、70 名の参加がありました。

実験では、同じ長さの 2 本の線が違う長さに見える錯視などを題材に、実際の見え方をみんなで確認しました。工作では、4 つのおもちゃを作りました。なかでも、「超高層ビルボックス」では、ビルが描かれた紙に思い思いの色を塗り、子どもたちの個性あふれる作品ができあがりました。それを組み立てた箱を覗くと、まるで高層ビルの上から見下ろしているように見え、「高い！」「浮いているみたい！」と驚きの声が上がりました。休憩時間には、紹介された本を子どもたちが興味深そうに手に取る様子も見られ、楽しみながら錯覚について学ぶことができました。



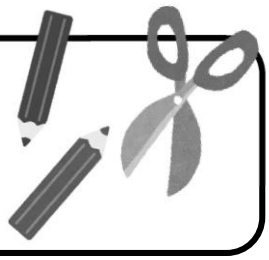
何ができるかな？

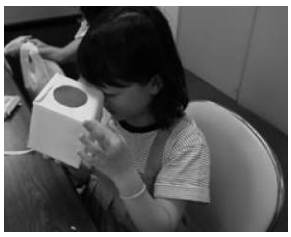
【参考になる本】※全て図書館で借りることができます。

『錯覚の大研究』　北岡明佳／監修

『だまし絵の不思議な世界』　杉原厚吉／著

『錯視で遊ぼう』　杉原厚吉／著





錯視にビックリ！

一般向け講座「教えて！けんご先生　SNS 時代の本の楽しみ方」

講師：紙上 健吾【けんご@小説紹介】さん　2026.8.2（日）

SNS で小説を紹介されている紙上健吾さんを講師に迎え、ご自身の体験をもとに、読書の魅力や読書時間を確保する方法についてご講演いただきました。

人生経験や年齢によって本の捉え方は変わるため、今しか持てない感性で読める若い時期の読書は、特別な体験であるとお話しされました。また、効率やスピードが重視される現代社会において、あえてゆっくりと本を読むことで心が整い、深い体験を得られるという読書の価値を教えていただきました。



読書の魅力について、ご講演いただきました

自宅では枕元に本を置いたり、外出時はカバンに文庫本を忍ばせたりするなど、すぐに本を手に取れる環境を作ることで、自然と読書時間が増えるという具体的なアドバイスをいただきました。講師の熱意あふれるお話を通じて、読書の豊かさを再発見する貴重な機会となりました。

【講座内で紹介された本】　※全て図書館で借りることができます。

『白夜行』　東野圭吾／著

『朝が来る』　辻村深月／著

『春にして君を離れ』アガサ・クリスティー／著

『日の名残り』カズオ・イシグロ／著

新たに始まったサービスを紹介します

本館でフリーWi-Fi が使えるようになりました

2026（令和 8）年 8 月 1 日（土）から、本館でフリーWi-Fi が利用できるようになりました。

この Wi-Fi でインターネットを使うには、スマートフォンやタブレットで「NaritaLib-FreeWiFi」に接続し、メールか SNS で認証してください。1 回につき 2 時間、1 日に 3 回まで接続できます。学習や調べ物にお役立てください。

セカンドブック事業を開始しました

成田市立図書館では、絵本を通じて親子のコミュニケーションを育むために、赤ちゃんに絵本の読み聞かせ体験と絵本をプレゼントするブックスタート事業を、2023（令和 5）年から行っています。そして、引き続き子どもたちが絵本に親しみ、関心を持つきっかけとなるよう、2026（令和 8）年 4 月に、セカンドブック事業を開始しました。

この事業は、「3 歳児健康診査」の会場にて実施しています。お子さん 1 人につき絵本 1 冊と、おすすめの絵本を紹介するブックリストを手渡しています。会場では、子どもたちが迷いながらも楽しそうに、お気に入りの 1 冊を選んでいきます。

セカンドブック事業では成田市立図書館で開催しているおはなし会の案内もしています。絵本を通した親子のふれあいタイムに、当館のイベントや絵本をぜひ活用してください。



気になる絵本はあるかな？



これはボクの絵本！たくさん読むよ



『しょうぼうじどうしゃじぷた』！キミにきめた！

編集後記

今回は、図書館で実施したイベントや講座、新しいサービスについてご紹介しました。図書館は、本を借りるだけでなく、学びや交流、新しい発見が身近に生まれる場所です。これからも皆さまに親しんでいただける図書館を目指し、さまざまな企画や講座を行っていきます。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

成田市立図書館だより	No.102
発行	成田市
編集	成田市立図書館
〒286-0017	千葉県成田市赤坂 1-1-3
	☎ 0476（27）4646
発行日	2026.09.30
登録番号	成教図 26-020